



株式会社ワッツ

(2735 東京証券取引所プライム市場)

2022年8月期決算と 2023年8月期業績予想について

2022年10月14日（金）

代表取締役社長 平岡 史生

目次



決算概要

2022年8月期の
連結決算について

P2 – P6

事業別

2022年8月期における
各事業の状況について

P8 – P15

事業計画

2023年8月期業績予想と
各事業の取組みについて

P17 – P22

参考資料

ワッツグループについて

P24 – P30



(単位：百万円)

業績ハイライト	2021年8月期		2022年8月期（当期）			
		構成比		構成比	前期比	計画比
売上高	50,702	—	58,347	—	115.1%	100.6%
売上総利益	19,625	38.7%	22,281	38.2%	113.5%	—
販売費及び一般管理費	17,956	35.4%	21,282	36.5%	118.5%	—
EBITDA	2,049	4.0%	1,690	2.9%	82.4%	—
営業利益	1,669	3.3%	998	1.7%	59.8%	90.8%
経常利益	1,586	3.1%	1,148	2.0%	72.4%	99.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	965	1.9%	781	1.3%	80.9%	94.1%
1株当たり当期純利益（円）	72.09		57.83		—	—

- ✓ **売上高**は、10月1日付で(株)音通エフ・リテール及び(株)ニッパンを子会社化したことで、前期比**15.1%増**
→P3
- ✓ **営業利益**は、100円ショップ既存店売上高が想定を若干下回る水準で推移したことに加え、M&Aによるのれん償却費や基幹システム刷新に伴う償却費負担により、前期比**59.8%**
→P5,9
- ✓ **親会社株主に帰属する当期純利益**は、連結子会社を吸収合併したことによる税金費用の減少、税務上の繰越欠損金発生に伴い繰延税金資産及び法人税等調整額（益）を計上したこと等により、前期比**80.9%**
- ✓ 売上高は計画通り推移したものの、水道光熱費や手数料等、販管費が計画より増加したことで、**計画比での営業利益は90.8%**となった



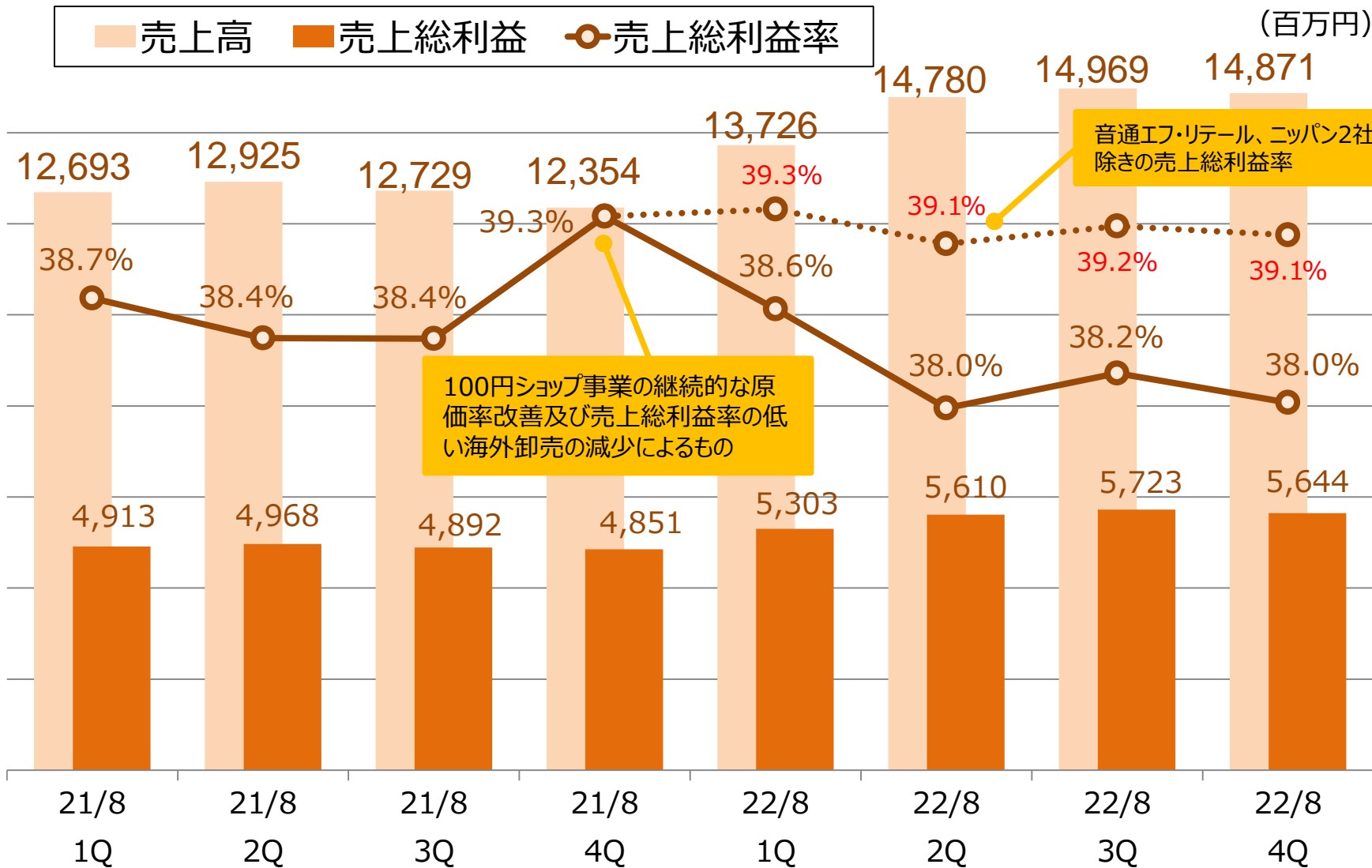
(単位：百万円)

事業部門別売上高		2021年8月期		2022年8月期（当期）		
			構成比		構成比	前期比
100円ショップ	直営	44,288	87.3%	51,829	88.8%	117.0%
	卸その他	1,673	3.3%	2,126	3.6%	127.1%
	小計	45,961	90.7%	53,955	92.5%	117.4%
海外事業	直営	274	0.5%	304	0.5%	111.2%
	卸	1,231	2.4%	1,123	1.9%	91.2%
	小計	1,505	3.0%	1,428	2.4%	94.8%
ファッション雑貨	ブオーナ・ビータ	766	1.5%	572	1.0%	74.7%
	ソストレーネ・グレーネ※					
リアル 他		2,468	4.9%	2,390	4.1%	96.9%
合計		50,702	100.0%	58,347	100.0%	115.1%

※ ソストレーネ・グレーネは、2021年3月末をもって事業撤退しております

- ✓ 100円ショップ事業を営む(株)音通エフ・リテール、(株)ニッパンを取得したことで、直営、卸その他はそれぞれ売上高を大きく伸ばし、国内100円ショップ事業の連結売上高に占めるシェアは1.8%増加

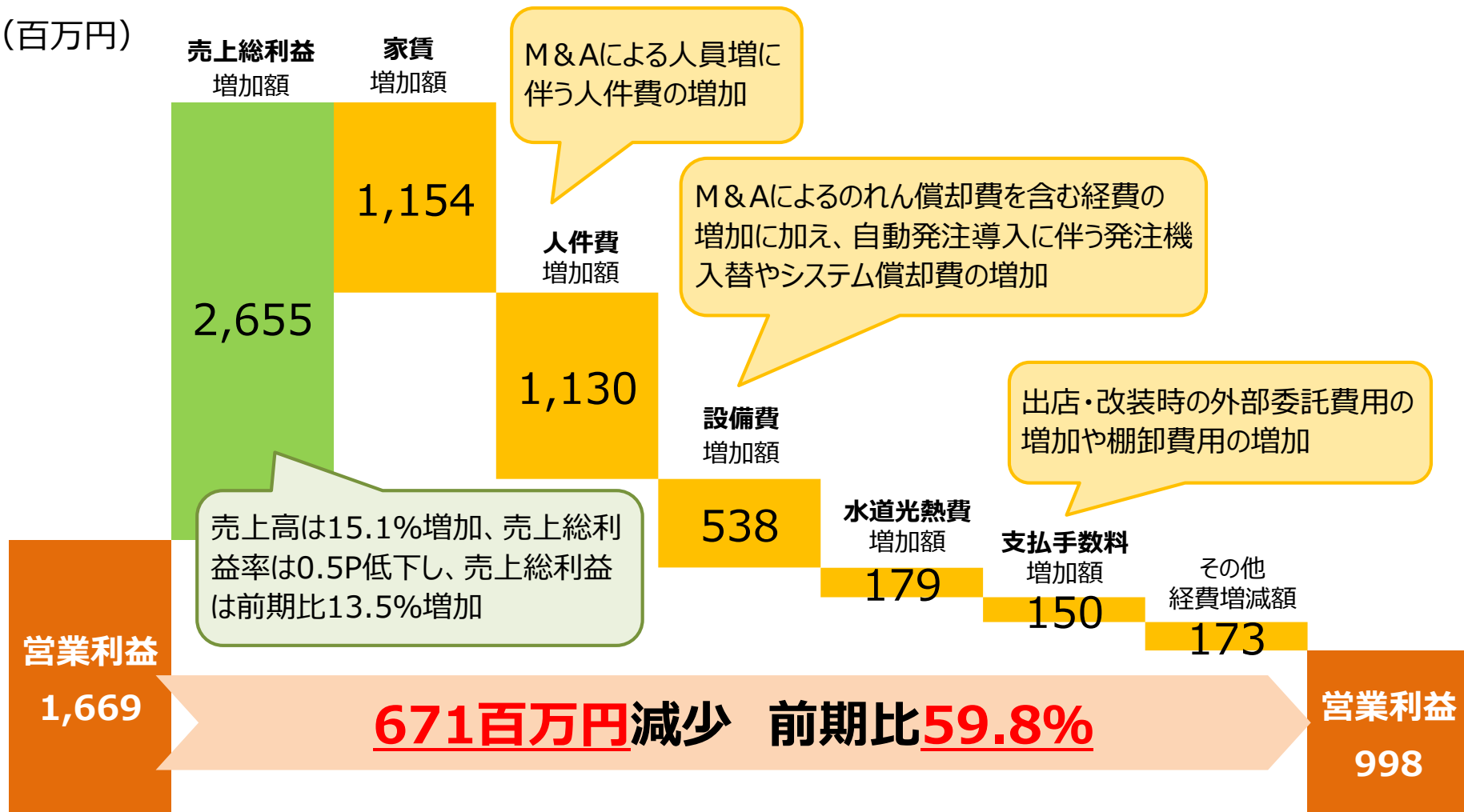
四半期別売上総利益率の推移



営業利益の増減要因



(百万円)



前期

当期

(単位：百万円)

連結 貸借対照表	2021年8月期		2022年8月期 (当期)	
		増減率		増減率
現金及び預金	6,169	6.4%減	6,687	8.4%増
商品及び製品	7,431	4.5%増	8,734	17.5%増
その他の流動資産	2,448	9.6%減	3,139	28.2%増
有形固定資産	1,552	3.5%減	2,155	38.9%増
その他の固定資産	3,739	6.2%増	4,883	30.6%増
総資産	21,340	0.9%減	25,600	20.0%増
負債	10,118	8.5%減	13,669	35.1%増
純資産	11,222	7.1%増	11,931	6.3%増

- ✓ 自己資本比率は46.6%、前期末から5.9ポイント減少
- ✓ その他の固定資産は、(株)音通エフ・リーテル取得を主因に、のれんが526百万円、差入保証金が475百万円、それぞれ増加
- ✓ 負債は、M&Aにより借入金を引き継いだことを主因に、長期借入金が1,915百万円増加

(単位：百万円)

連結 キャッシュ・フロー	2021年8月期		2022年8月期 (当期)	
		増減額		増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	378	△543	1,721	1,343
投資活動によるキャッシュ・フロー	△778	△252	△975	△196
財務活動によるキャッシュ・フロー	△51	△158	△328	△276
現金及び現金同等物に係る換算差額	30	16	101	70
現金及び現金同等物の期末残高	6,169	△422	6,687	518
フリーキャッシュ・フロー	△400	△796	746	1,146

- ✓ 営業活動によるC/Fは、M&Aによる純増等により、仕入債務が1,559百万円増加
- ✓ 投資活動によるC/Fは、M&Aによる契約元切替を主因として、敷金及び保証金の差入による支出485百万円増加

目次



決算概要

2022年8月期の
連結決算について

P2 – P6

事業別

2022年8月期における
各事業の状況について

P8 – P15

事業計画

2023年8月期業績予想と
各事業の取組みについて

P17 – P22







参考資料

ワッツグループについて



P24 – P30





国内100円ショップ事業

 	出退店の状況	通期計画の出店230店、退店86店に対して 193店出店、61店退店 し、期末店舗数は 1,641店 →P10
 	Wattsブランド店舗	出店・改装により204店増加して 1,029店 。100円ショップ全店に占める割合は62.7%
 	M&A	2021年10月1日付で、100円ショップ事業を営む音通エフ・リテール社を連結子会社化。2022年9月統合完了 →P12

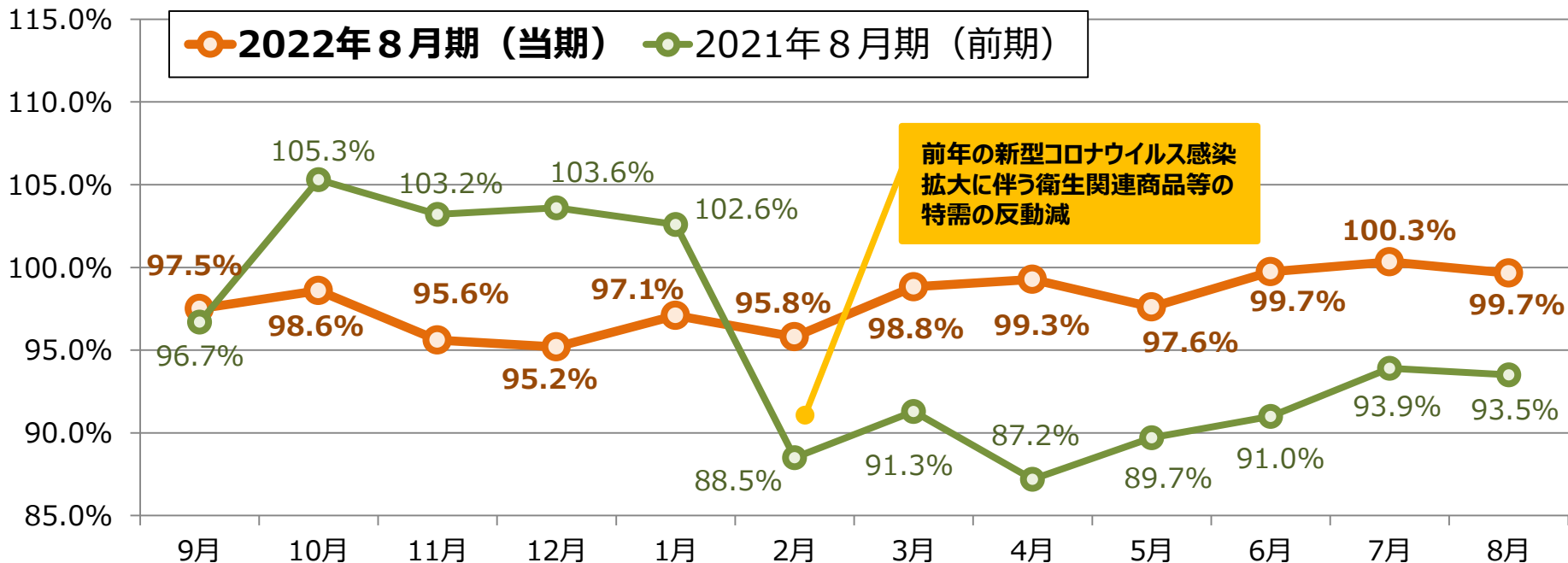
海外事業

 	海外店舗数	当社商品を取り扱う店舗は、当社グループ内で 55店 （14店舗減）、現地パートナーの店舗を合わせると約90店 →P13
--	-------	---

国内その他事業

	Buona Vita (ブオーナ・ビータ)	心地よい生活を提案する雑貨店。当社100円ショップへのコーナー展開を中心に進める。店舗数は 23店 →P14
	リアル	地域密着型のディスカウントショップ。8月末現在 6店 展開、100円ショップ事業とのシナジー効果を創出していく →P15

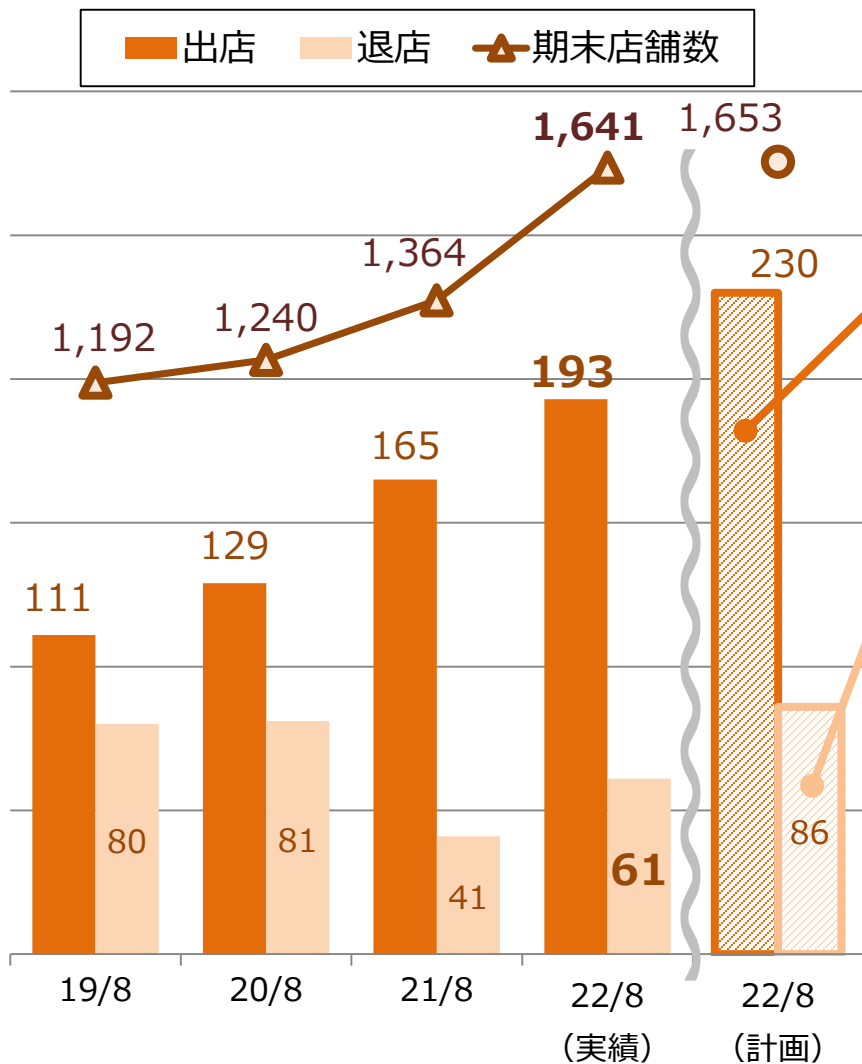
100円ショップ事業の状況① ～既存店売上高対前年同月比の推移～



既存店増減率	9月	10月	11月	12月	1月
前期 (A)	-3.3%	+5.3%	+3.2%	+3.6%	+2.6%
当期 (B)	-2.5%	-1.4%	-4.4%	-4.8%	-2.9%
A+B	-5.8%	+3.9%	-1.2%	-1.2%	-0.3%

- ✓ 対前期比は、売上高97.9%、客数96.5%、客単価100.3%
- ✓ Wattsブランド店舗売上高は対前期比99.5%

※ 前期9月～1月は巣ごもり需要等の影響が大きかったため、反動減の影響を除いた伸び率として、前期と当期の増減率の和を掲載



出退店計画と実績

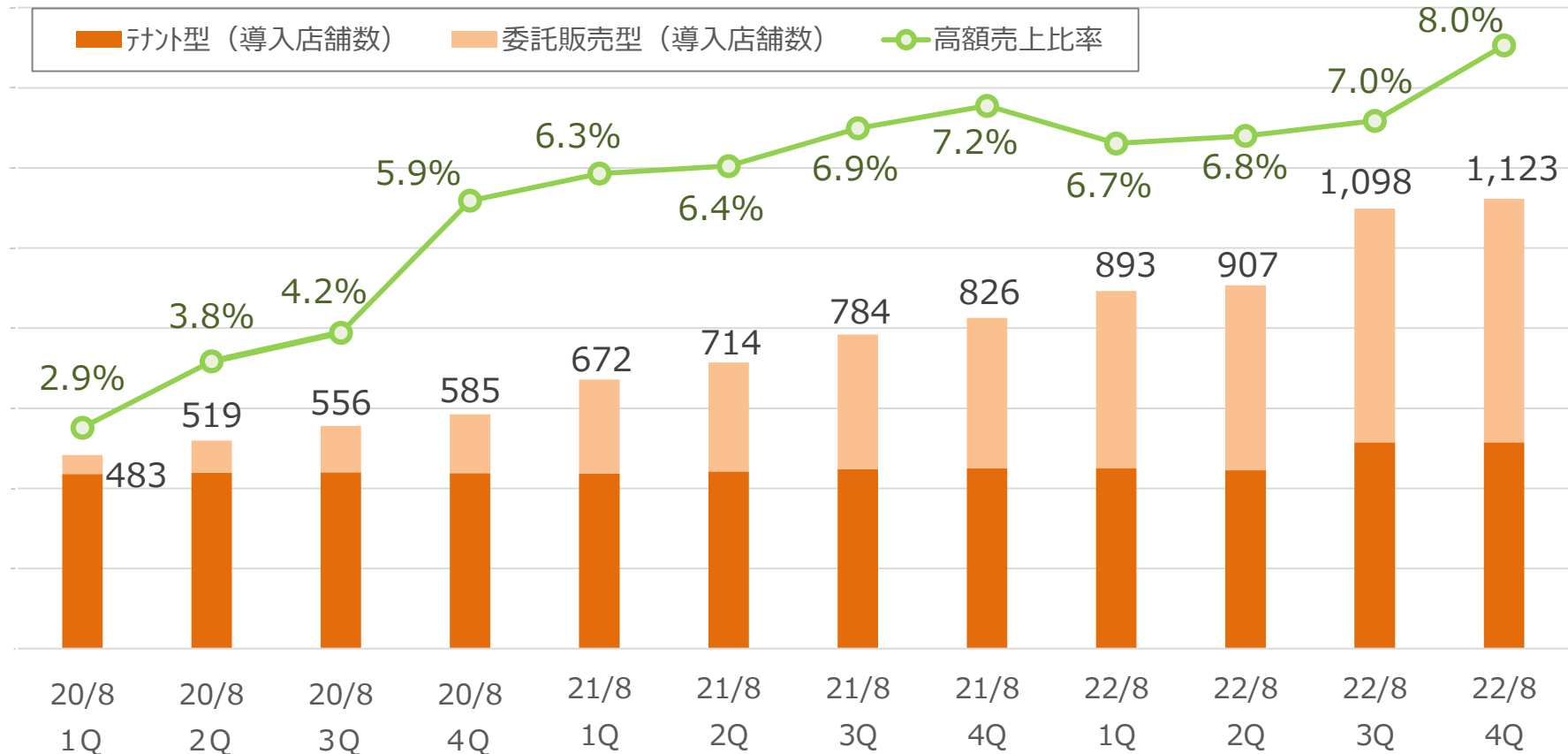
出店計画 230店 → **193店**出店

退店計画 86店 → **61店**退店

- ✓ 出店ペースは計画を下回っているものの、退店数も少なく済んでおり、純増計画289店に対し、**277店純増**（純増数には、2021年10月1日付にて取得した(株)音通エフ・リテールの145店舗を含む）
- ✓ 全1,641店の内、Wattsブランド店舗は、1,029店（204店純増）

100円ショップ事業の状況③

～高額商品導入店舗数と売上シェアの推移～



※ 22/8 3Qより旧(株)音通エフ・リテール店舗を含めております

✓ 売上高構成比20.0%を目標に高額商品の拡充及び導入を引き続き進めていく

100円ショップ事業の状況④

～音通エフ・リテールとの統合～



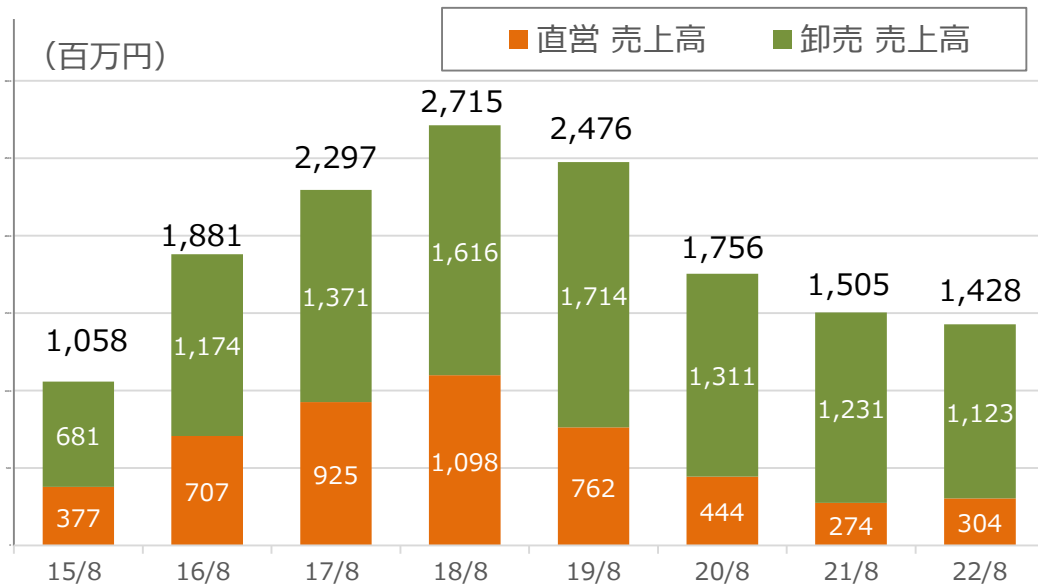
FLET'S
100 YEN SHOP



百圓領事館



- ✓ 2021年10月1日付で、100円ショップ「FLET'S（フレッツ）」「百圓領事館」等を舗運営する株式会社音通エフ・リテールを子会社化
- ✓ 雑貨商品マスタや管理業務・人事体系、店舗オペレーション等の統合が完了したことから、2022年9月にワッツ東日本販売、ワッツ西日本販売へ組織再編を実施
- ✓ 100円ショップ事業として、単独店の出店モデル構築及び強化を進める
- ✓ 食品発注システム、POSレジ統合については未了。2023年8月期中に自動発注と合わせて統合完了を目指す

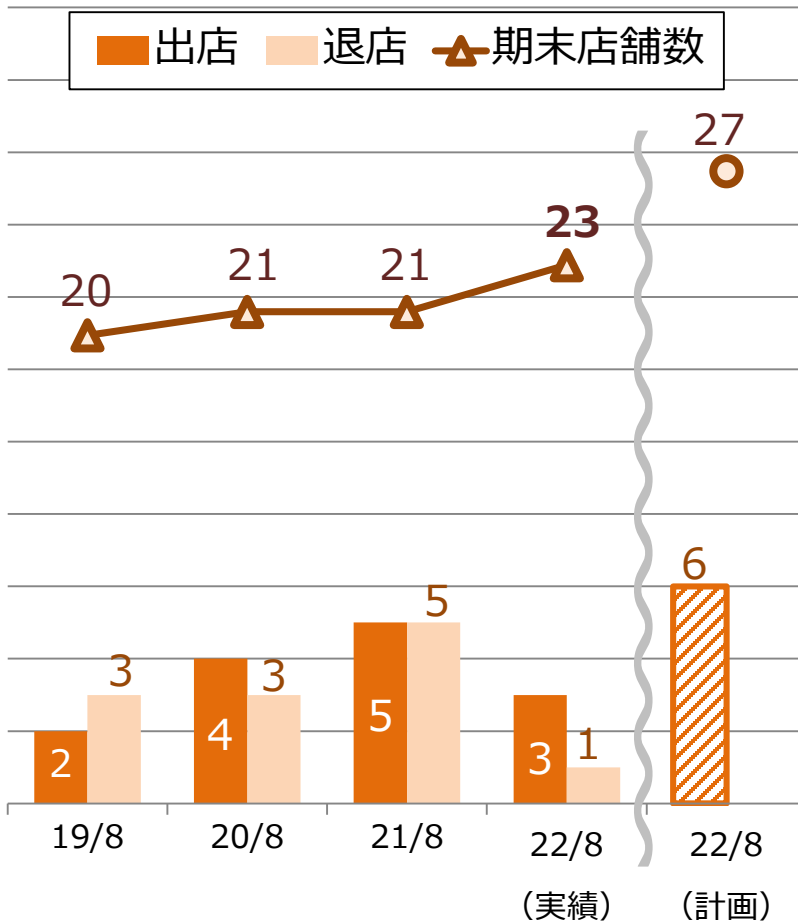


国名	出店形態	出店	退店	店舗数 (22/8)
タイ	FC	—	4	37
中国	FC	—	—	4
マレーシア	FC	—	2	—
ベトナム	FC	—	3	—
ペルー	直営	1	6	14
合計		1	15	55



KOMONOYA サンフェリペ店 (ペルー)

- ✓ タイは、37店舗展開（4店舗減）
「Watts」屋号の店舗も新店、改装により11店舗展開
- ✓ ペルーは、新型コロナウイルス感染症の影響で不採算店舗の閉鎖を進めた結果、足許黒字確保



ブォーナ・ビィータ グランエミオ所沢店 (埼玉県)

- ✓ 2022年8月末現在、**23店舗**。当社100円ショップへの委託販売型を6店舗展開
- ✓ コロナ禍前の客数に戻りつつあり、既存店売上高の対前期比は104.2%と好調に推移



- ✓ 同社の強みである商品調達力を活かして、お買い得な商品を幅広く展開
- ✓ 当社100円ショップとのコラボ店舗を運営、100円ショップ事業とのシナジー効果創出を図る
- ✓ 2022年8月末時点で**6店舗**（テナント型5店舗、委託型1店舗）



- ✓ **おうち雑貨店**
「Tokino:ne（ときのね）」、コンセプトは『「自分時間の楽しみ方」を形に』
- ✓ 2022年3月に2号店となるイオン海浜幕張店（千葉県千葉市）オープン
- ✓ 朝・昼・夕・夜をゾーンで分け、各時間帯で必要な商品を集めており、お客様それぞれのルーティーンをイメージしながら楽しくショッピングができるように工夫

目次



決算概要

2022年8月期の
連結決算について

P2 – P6

事業別

2022年8月期における
各事業の状況について

P8 – P15

事業計画

**2023年8月期業績予想と
各事業の取組みについて**

P17 – P22

参考資料

ワッツグループについて

P24 – P30

2023年8月期業績予想



(単位：百万円)

業績予想	2021年8月期			2022年8月期			2023年8月期（予想）		
		構成比	前期比		構成比	前期比		構成比	前期比
売上高	50,702	-	96.0%	58,347	-	115.1%	60,500	-	103.7%
売上総利益	19,625	38.7%	97.1%	36,066	38.2%	113.5%	-	-	-
販売費及び一般管理費	17,956	35.4%	97.3%	21,282	36.5%	118.4%	-	-	-
EBITDA	2,049	4.0%	93.8%	1,690	2.9%	82.4%	1,744	2.9%	103.2%
営業利益	1,669	3.3%	94.4%	998	1.7%	59.8%	920	1.5%	92.1%
経常利益	1,586	3.1%	91.7%	1,148	2.0%	72.4%	850	1.4%	74.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	965	1.9%	124.7%	781	1.3%	80.9%	530	0.9%	67.8%
1株当たり当期純利益（円）	72.09		-	57.83		-	39.04		-
ROE	8.9%		-	6.7%		-	4.4%		-

- ✓ 100円ショップの出退店計画
【出店】上期107店、下期129店、計236店
【退店】上期62店、下期28店、計90店
純増計画数 146店
- ✓ 100円ショップ既存店売上高は通期で前期比100.0%と見込む

- ✓ フレッツ店舗含む既存店の改装投資、省力化に向けたセルフレジの導入等を進めるため、営業利益は前期比92.1%
- ✓ 2022年8月期は為替差益や合併による節税効果の影響が大きく、来期の経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は大幅減益となる見込み



いい商品を安く 売る仕組みづくり の追求を継続

- ✓ ローコスト出退店
- ✓ ローコスト・オペレーション
- ✓ お買い得な実生活雑貨
- ✓ POSシステムの活用と自動発注化への対応強化

100円ショップ事業

他業態とのミックス 店舗の開発・展開

- ✓ 「Watts」「Watts with」出店モデルの一層の深化
- ✓ その他業態を活用したグループシナジーの創出
- ✓ 更なる成長のためのM&Aも検討

進出国ごとの ビジネスモデル確立

- ✓ ウィズコロナ環境下での既存事業の一層の伸長
- ✓ 海外パートナーとの共同事業の構築
- ✓ 既存の経営資源を活かした異業種とのコラボ

海外事業



その他業態

業容の拡大と 収益源の多角化 を図る

- ✓ グループECチャネルの抜本的強化
- ✓ M&Aを含めた、新たな可能性の捕捉



高額商品の取扱い



- ✓ 高額商品（100円以外の価格帯商品群）の取扱いにより、商品の充実・売り場の活性化を図る
- ✓ 取扱店舗を委託販売型店舗にも積極的に拡大し、グループ全体の粗利率改善へと繋げる
- ✓ 2023年8月期中に売上高構成比を20.0%に伸ばし、アイテム数は4,000アイテムを目標とする

コラボ出店

- ✓ ディスカウントショップ「リアル」やファッション雑貨事業「Buona Vita」等とのコラボレーション店舗を展開し、グループ事業間でのシナジー効果創出に取り組む





セルフPOSレジの導入



- ✓ キャッシュレス専用のセルフPOSレジは、2022年8月末現在、58店舗で稼働。現金決済対応のフルセルフレジについても、導入を進める
- ✓ 精算業務の効率化・省力化により生産性を向上させ、削減した人的リソースをお客様満足度向上へ
- ✓ 会計の待ち時間を減らし、ピーク時の列解消へ（機会損失の減少）
- ✓ 非対面によるお客様・従業員双方の新型コロナウイルスの感染防止対策に

POSデータの活用



- ✓ 滞留商品を削減し、売れ筋商品や新規商品に入れ替えることで売場の商品鮮度を高める
- ✓ POSデータを活用した販売分析を基に、立地や客層に合わせた店舗モデルを確立していく
- ✓ 自動発注システムをテナント型450店舗超へ導入完了。自動発注精度の向上及び旧音通エフ・リテール店舗への導入を進める



ECサイトリニューアル



個人・法人・学校・団体事業者様

\\ 選りすぐり \\

約 **270** アイテム

セット単位 専用サイト

まとめ購入

- ✓ 品揃えは **1万3,000アイテム以上**で、1個からの注文も可能
- ✓ セット単位、まとめ購入専用サイトも開設
- ✓ 100円ショップだけでなく、ワッツグループブランドを取扱い中

SNSの活用

twitter



Instagram



・ワッツ公式YouTubeチャンネル



- ✓ 当社認知度向上のツールとして活用

**KoMoNoYA**
OSAKA JAPAN

【海外事業】

- 日本商品の拡大
- 店舗プロモーション強化による客数増
- 新市場の開拓と既存市場の育成
- タイ事業の構造改革、ペルー事業の改善

Buona Vita
フォナ・ビータ

【Buona Vita】

- 新店4店舗計画
- 既存店前年比102.0%
- プチプラコスメの導入店舗増

スーパーディスカウント

リアル

【リアル】

- 新店1店舗計画（ワッツ直営店からの切替え）
- 既存店前年比100.0%
- 100円ショップ事業とシナジー効果が見込める体制の構築

NIPPAN
ニッパン

【ニッパン】

- 企業別にカタログやDM案内を実施
- ネット通販サイトへのカード決済導入

目次



決算概要

2022年8月期の
連結決算について

P2 – P6

事業別

2022年8月期における
各事業の状況について

P8 – P15

事業計画

2023年8月期業績予想と
各事業の取組みについて

P17 – P22

参考資料

ワッツグループについて

P24 – P30



国内100円ショップ事業



FLET'S
100 YEN SHOP



海外事業

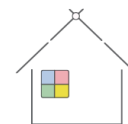


KOMONOYA
OSAKA JAPAN



小物家园
KOMONOKAEN

国内その他業態



Tokino:ne

スーパーディスカウント

リアル



その他事業の概要



心地よい生活を提案する
雑貨店「フオーナ・ビータ」
2022年8月末現在、
23店舗。



時間をテーマにしたおうち雑
貨店「Tokino:ne」、
2022年3月に2号店オープン



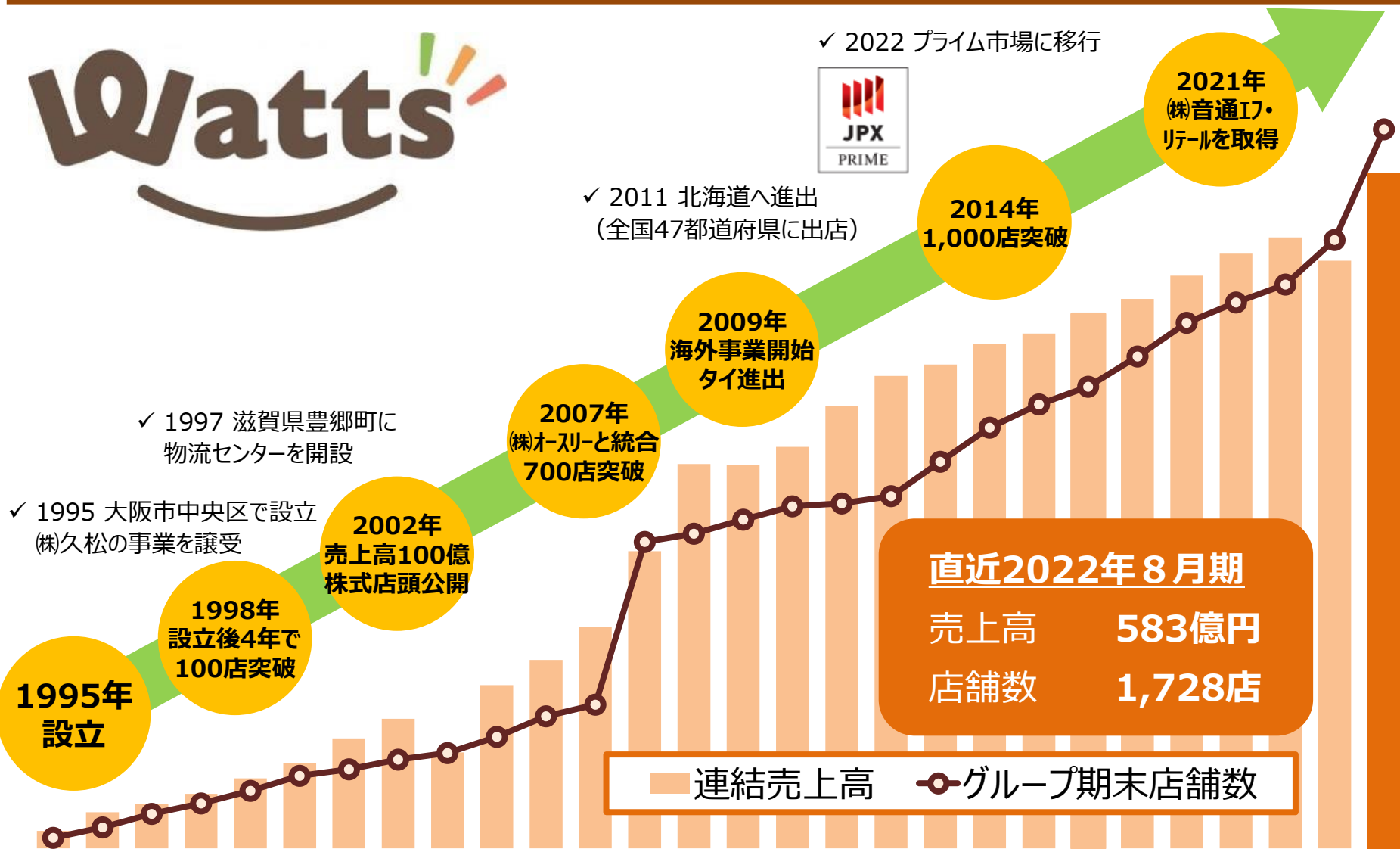
100円ショップと食品スーパーの
コラボ店舗



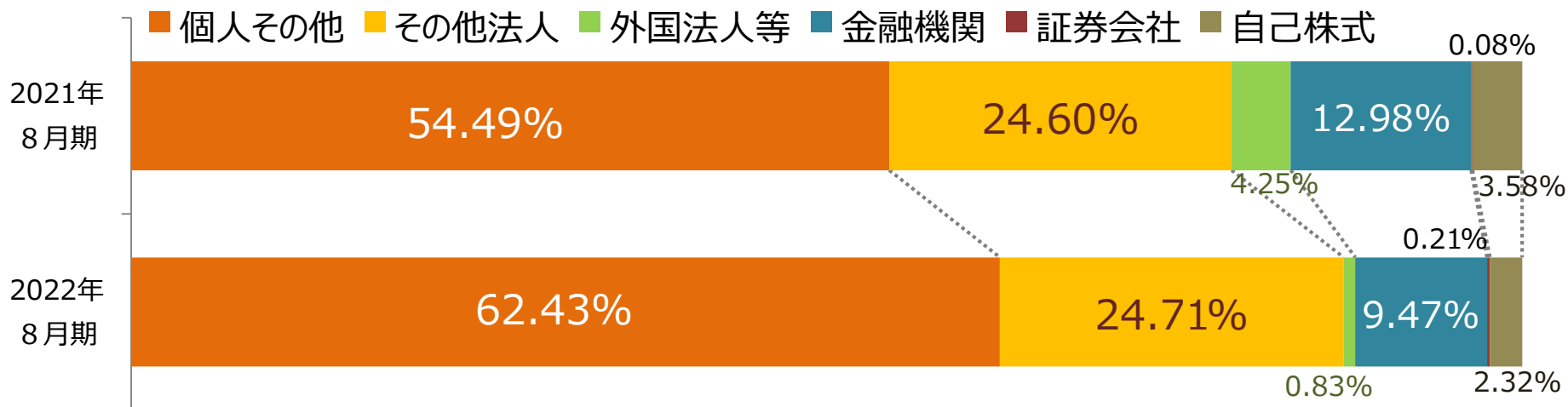
地域密着の小型
ディスカウントショップ。
2022年8月末現在、
6店舗



設立	1995年2月22日（現在は、第29期）
社名の由来	おもろいことを「ワッ」とやろう！
上場市場	東京証券取引所 プライム市場 (証券コード： 2735)
資本金	4億4,029万円
本社所在地	大阪市中央区城見一丁目4番70号 住友生命OBPプラザビル5階
主な業務	日用品・雑貨の卸小売業 (主に 100円ショップの運営)
グループ従業員数	3,593名（2022/8/31現在） ※パート・アルバイトを含む
グループ店舗数	1,728店（2022/8/31現在） ※その他店舗を含む



株主構成



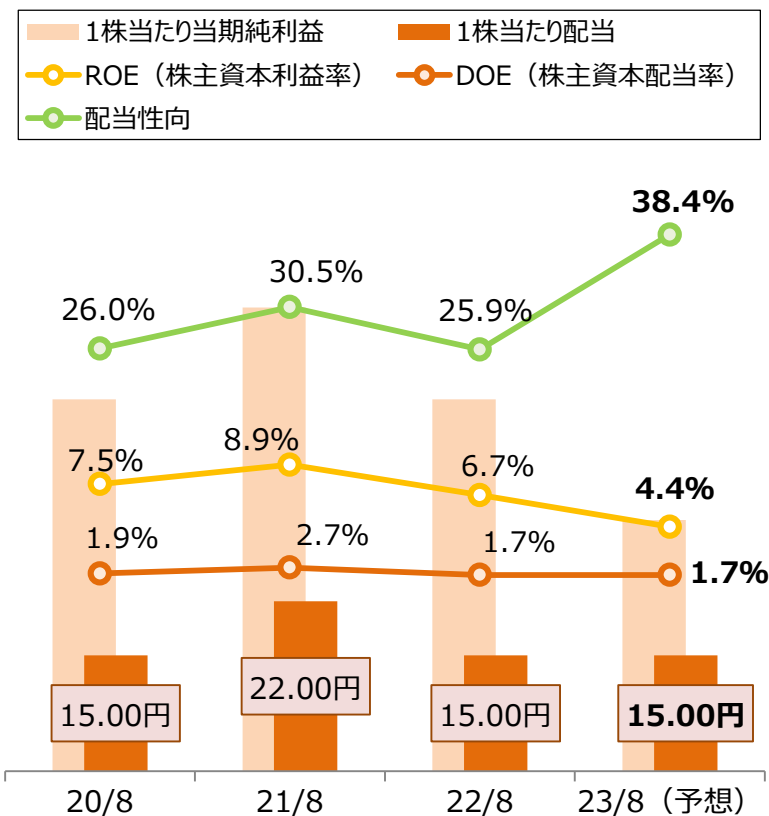
	2020年8月期	2021年8月期	2022年8月期	前年 同期末比
発行済株式総数	13,958,800株	13,958,800株	13,898,800株	△60,000
株主数	23,454名	22,290名	23,447名	+1,157名
個人その他	52.77%	54.49%	62.43%	+7.94 [※]
その他法人	24.60%	24.60%	24.71%	+0.11 [※]
外国法人等	4.43%	4.25%	0.83%	△3.42 [※]
金融機関	12.88%	12.98%	9.47%	△3.51 [※]
証券会社	1.71%	0.08%	0.21%	+0.13 [※]
自己株式	3.58%	3.58%	2.32%	△1.26 [※]

- ✓ 自己株式の消却により、発行済株式総数は60,000株減少
- ✓ 譲渡制限付株式報酬として、ワッツグループ役員・従業員に自己株式を割当てたため、自己株式所有比率は1.26[※]減少

(注) 小数点第3位以下を切り捨てており、各項目の比率を加算しても100%にならない場合があります。



ワッツは、「安定した配当を継続して行う」ことが、株主の皆様への利益還元であると考えています。



	2020年 8月期	2021年 8月期	2022年 8月期	2023年 8月期 (予想)
1株当たり当期純利益	57.80円	72.09円	57.83円	39.04円
1株当たり配当金	15.00円	22.00円	15.00円	15.00円
配当性向	26.0%	30.5%	25.9%	38.4%
配当利回り	1.6%	2.5%	2.1%	2.1%
ROE (株主資本利益率)	7.5%	8.9%	6.7%	4.4%
DOE (株主資本配当率)	1.9%	2.7%	1.7%	1.7%

※各事業年度の配当利回りは決算基準日の株価で算出
(2023年8月期配当利回りは8月31日の株価で算出)

株主優待制度



保有株式数	優待内容
200株以上	当社オンラインショップでご利用可能な株主優待券 税込み2,200円分

- ✓ 株主優待の商品を自由に選びたいという株主様の声にお応えし、当社オンラインショップでご利用可能な株主優待券を贈呈いたします

※2022年8月期の優待内容です

※オンラインショップ掲載の全商品を対象にご利用いただけます

※株主優待発送の送料は当社にて負担いたします

※株主優待券は、当社オンラインショップのみでご利用可能です。店舗ではご利用いただけません



本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行っていただきますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではないことをご認識いただくようお願い申し上げます。

説明内容に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

お問い合わせ先：

株式会社ワッツ 常務取締役経営企画室長 森 秀人

e-mail：ir@watts-jp.com

TEL： [06-4792-3236](tel:06-4792-3236)